

図書室だより

令和2年度 4月



入学・進級おめでとう

1年生の皆さん ご入学おめでとうございます。柏原中学校の一員として3年間、大きく成長してください。

新2年生、新3年生の皆さん。進級おめでとうございます。

昨年度末から、思いもよらない長い休校となりましたがどのようにすごしましたか。

今年度は柏原中学校の中心的存在として、学習・部活動などで活躍を期待します。

世界全体で力を合わせて病気と戦うときです。戦うとき、人はいつも以上に心の力を欲するものです。古来より本は、閉ざされた人々や傷ついた人々に、勇気と楽しみと深い知恵を与え続けてきました。

本の扉を開けましょう。自身の世界を広げましょう。

開室日・開室時間は、追ってお知らせします。

基本の時間は、昼放課（給食後から5時間目開始の5分前まで）

貸し出し冊数と期間：一人一冊一週間

※席を使って本を読んだり、学習をしたりするときは、
お互いに離れた席にしましょう。なるべく向かい合わせに座らないように。
話をしないで静かにしましょう。

集団読書を行っています

集団読書は、クラスの全員で同じ本を一定期間読む行事です。

図書担当の先生たちが、中学生が読むのにふさわしい、読み応えのある本を選んでいきます。

クラスの全員で同じ時に同じ本を読むという体験はなかなかできません。また、ふだんなら自分から手に取らない分野の本がクラスにあたることもあるでしょう。自分の世界を広げる機会です。



pixiv.jp - 48233078

ぜひクラスの人と、感想を交わしあいながら読み進めてください。

期間の終わりには、国語の授業で「読書メモ」を書きます。本の中で心に残ったところやおすすめポイントを書きましょう。

集団読書 期間：日程が決まり次第お知らせします。

各クラスに同一の本40冊をコンテナに入れて図書委員が運びます。

原則、自分の名簿番号と同じ番号の本を読みます。

新しく入った本



『スマホを落としただけなのに』 志賀 晃 著

皆さんにとって今や、スマホはとても身近なツール(道具)のひとつですね。いろいろな機能が一つになっていて、これさえあれば買い物から通信はじめ、なんでもできます…が。

落としてしまったら。誰かに悪用されたなら。便利に慣れすぎた世の中の恐怖が展開します。映画の原作です。

『「ロウソクの科学」が教えてくれること』

M・ファラデー 原作 尾嶋好美 編著 白川秀樹 監修 (サイエンス・アイ新書)

2019年のノーベル化学賞受賞の吉野彰さん、2016年のノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅良典さんなど、今を代表する科学者たちが、口々に「科学の興味を教えてくれた」と推薦する本です。

マイケル・ファラデーは、一般の人たちがワクワクするような実験を見せながら、「ロウソクはなぜ燃えるのか」「燃えている間、何が起きているのか」という謎を解き明かしました。さらには空気や水、金属、生物といった、この世界を形作るものの仕組みや美しさも伝えたのでした。

再現可能な実験の写真や図解を載せ、物語としても楽しめる本です。



このほかにも、『本好きの下克上』第四部など入りました。

図書室入り口近くの「**新着本**」コーナーを見てください。

本の虫



このコーナーは、すでに図書室に入っている本の中からおすすめを紹介します。比較的新しいものから古いものまで。手に取ってみてください。

『首都感染』 高島哲夫

2010年の12月に発行された本ですが、最近では「まるで今を予言したかのようだ」と再び評判になっている本です。もちろんフィクションとして書かれた小説ですが、リアルな場面描写を読むと背筋が寒くなるかもしれません。

図書室にはこのカバーを取った状態の、**真っ赤な表紙**の本で入っています。感染予防の大切さがよくわかります。

